

「平成 22 年度立ち上げ全体会議」報告

2010年5月10日（月）から12日（水）の3日間にわたって、「平成22年度立ち上げ全体会議」が、独立行政法人「理化学研究所」で開催されました。計画班38名、公募班29名、領域外から41名の方々が参加されました。2年前の、2008年6月の「平成20年度立ち上げ全体会議」も、同じ理化学研究所で開催されました。今回は、新たに公募研究で加わったメンバーとともに、特定領域の後半戦のスタートを切る会議でした。

会議では、絶縁体や金属を舞台としたフラストレーションによるスピン液体状態とそこに隠れた様々な秩序の可能性の探求、フラストレート系特有のマルチフェロイックスの探求と新しい材料の探索、フラストレート系を舞台としたトポロジカルな構造の形成とその秩序化の探求、など様々な切り口からの研究報告がなされ、今後の展望が議論されました。フラストレーションというコンセプトに根ざした研究が特定領域の中で実験・理論ともに確実に進展していることが印象づけられました。

会議2日目の懇親会には68名の方が参加されました。評価者の先生方、また領域代表の川村先生から、特定領域の後半戦で、「領域外の科学者、一般の方々にもその意義が通じる」、フラストレーションによる「新しい成果」を得るために一層努力するようにとのメッセージを頂きました。



(吉野 元)